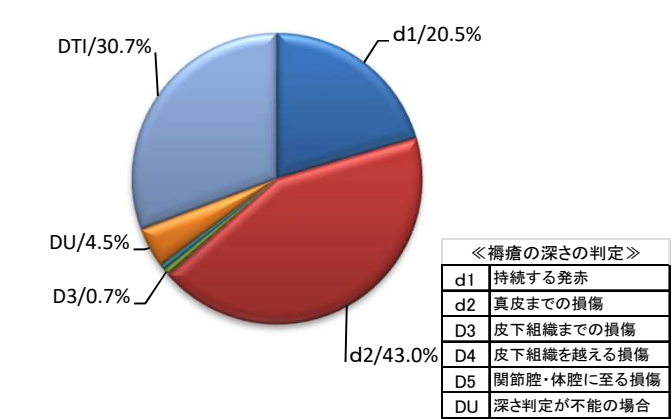


Ⅲ. 褥瘡対策チーム

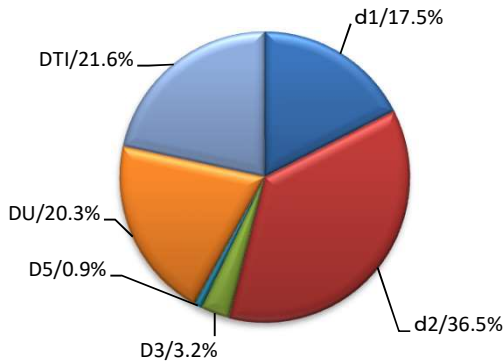


日本国内で高齢化が急速に進む中、当院では褥瘡（床ずれ）対策を重要な課題として位置づけている。当院は救命救急センターを有する特定機能病院として、長時間の手術や特殊な体位管理が必要な患者さん、あるいはICU等での集中治療を要する重症患者さんなど、褥瘡発生リスクが極めて高い方々を数多く受け入れている。このようなハイリスクな環境下において、我々は医師、専任看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、管理栄養士、理学療法士・作業療法士、薬剤師といったスタッフによる横断的な連携体制を構築している。各職種が専門知見を共有し、個々の患者さんの状態に応じた詳細な「褥瘡予防治療計画」を立案することで、発生の予防から早期発見、早期対応に至るまで、組織的な管理を行なっている。一般病棟においても、看護師による日々の細やかな観察を基盤とし、負担のかかりやすい部位への適切なポジショニングや体位変換、予防マットレスの選定、保湿ケアを実践している。特に、医療機器による圧迫が原因となる褥瘡について、スタッフ教育の強化や使用機器の見直しを推進した結果、この1年間で発生数を30%以上減少させることができた。今後も、多職種が緊密な協力体制のもとで知識の向上と啓発活動に努め、褥瘡予防に取り組んでいく方針である。

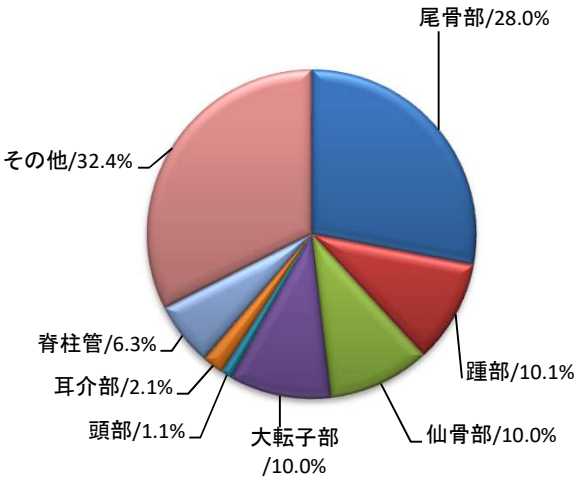
Ⅲ-1 2025年度深さ別発生率(新規発生褥瘡)



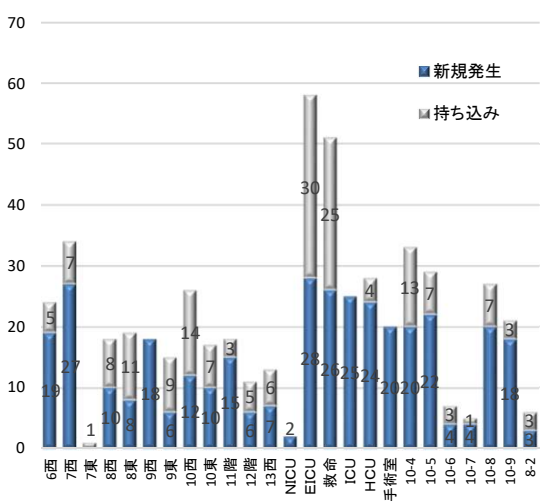
Ⅲ-2 2025年度深さ別発生率(持ち込み褥瘡)



Ⅲ-3 2025年度部位別褥瘡発生率(新規発生褥瘡)



Ⅲ-4 2025年度部署別褥瘡発生状況



Ⅲ-5 過去5年間の褥瘡発生率

区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
発生率	2.13%	3.09%	1.24%	1.27%	1.30%